

北浦千太郎 きたうら せんたろう 評論家。明治三十四年長野縣生れ（一九〇一）。小  
學校卒業後秀英舎、報知新聞社の印刷工となし労働運動に奔走。大正  
八年東京印刷聯合會幹部。のちポルシェイズムに轉じ、十年高尾平  
兵衛と共にロシアに入る。モスクワの東洋被壓迫民族大學に學ぶ。歸  
國後日本共產黨に加盟。また「無産者新聞」創刊と共に入社し、紙上  
で福本和夫と論争の末、黨を除名せられた。昭和二年雜誌「労働」同  
人。翌年二・一五事件（黨員一齊檢挙）に連坐して入獄中、精神の衰  
状を來して一時松澤病院に入院。

譯書、レーニン著・アドラツキ一編「辯證法の具體的適用」(附)歴史  
の唯心論的對唯物論的理解」(昭和二年十月五日南東書院)等。